

令和3年度 第2回 大津町地域公共交通会議

日時：令和3年10月25日（月）14：00～

場所：大津町役場庁舎3階 302会議室

【事務局】

ただいまより、令和3年度第2回大津町地域公共交通会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでははじめに、大津町長金田町長よりご挨拶をお願いします。

【町長】

皆様こんにちは。本日はご多用のところお集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃より各町政全般にあたりご協力、ご尽力賜り感謝申し上げます。就任後初めての会議となりますので、少しでもご挨拶をさせて頂ければと思います。

先日、昨年度実施した国勢調査の結果が出ており、大津町は前回（5年前）と比べて人口が約1,500人増加しています。高齢化率に関しては、県全体の平均が31%に対し、大津町は22%と低い値を維持しています。しかしながら、5年前と比較すると2%増加、10年前からは4%増加と高齢化率は高くなっており、今後加速していく見込みと考えています。また、中心部の人口は増えていますが、南部や北部は過疎化、高齢化が進行しています。このような中、免許返納などの問題もあり、今後は遠隔地やまちなかの公共交通をどのようにしていくかという点が重要となります。

本会議は計画についてもご説明させて頂き、皆様から忌憚ない意見を頂きながら、今後の大津町が各地において誰しものが住み良いまち、かつ持続可能なまちとなるにはどのような仕組みが必要となるか、ご意見頂きながらしっかり作っていきたくと思っています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、本会議の会長柿本会長よりご挨拶をお願いします。

【会長】

皆様こんにちは。熊本大学の柿本と申します。第2回となりましたが、コロナの影響により、昨年は対面で集まることがほとんどできませんでした。大学でも遠隔授業を行っており、集まるのが難しい状況です。学内であってもZOOMで対応しています。我々も出張に行くことが少なくなり、公共交通機関を利用することが減りました。このような状況下で、公共交通をどのようにしていくかを考えていくこととなります。

本日は地域公共交通計画策定支援業務についてもお話がありますが、平成27年にも一度策定しています。ただ、平成28年に熊本で地震が発生し、昨年は新型コロナウイルスの感染が拡大した中で、平成27年に作成した計画はほとんど実施できていない状況です。作り直しになりますが、今回は我々の暮らし方も少しずつ変わってきています。そのあたりも加味しながら、皆様の忌憚ないご意見を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。では、議事に入る前に会議資料の確認をさせていただきます。まず1枚目が式次第、2枚目が「大津町地域公共交通計画策定の概要等について」がA4で1部、3、4枚目に本日ご出席の方の委員名簿および席次表、5枚目に地域公共交通会議の設置要綱、6枚目にA3カラーの計画策定支援業務の取組方針についてとなります。式次第合わせて6種類あるかと思いますが、過不足はございますでしょうか。それでは、これからの議事進行は柿本会長にお願いします。

【会長】

それでは、進行させていただきます。早速議事を進めさせていただきます。議事①大津町地域公共交通計画の策定について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事①大津町地域公共交通計画の策定について事務局より説明 ～

【会長】

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありましたように、スケジュールは繰り越して年度を跨いで取り組んでいくことに対し、何かご意見等がありましたらお願いします。ご意見がないようですので、スケジュールは現状の内容にて進めていきます。

続きまして、②計画策定支援業務の取組方針について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事②計画策定支援業務の取組方針について事務局より説明 ～

【会長】

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明頂きました計画策定支援業務の取組方針について、何かご質問等ございますでしょうか。

【委員】

丁寧なご説明ありがとうございました。民生委員会の幹事を行っております高木と申します。いくつか確認したいのですが、まずはスケジュールの件です。繰り越しする部分は仕方ないかと思いますが、アンケート調査のスケジュールについては、今月の中旬より開始とのことで、配布から回収までの準備期間として約2週間しか設けられていません。このスケジュールではかなり厳しいのではないのでしょうか。アンケートが回収できないのではないかと思います。アンケート結果が基礎となる資料になると思うため、十分検討頂き、スケジュールに反映させて頂ければと思います。特に事前準備期間をもう少し短縮し、その分調査や分析期間を長くすると有り難いのではと考えます。もう1点は、アンケートの調査項目についてです。もう一度行政とお話し頂き、不要箇所は省いて欲しいです。現在の内容ですと、項目が多く回答が大変のように感じます。大変苦勞をかけるとは思いますが、特にこの計画につきましては都市計画マスタープランとの繋がりが大変厳しいところがあると思いますので、こちら併せて検討頂ければと思います。

【会長】

いまのご意見に対してはいかがでしょうか。準備期間を短縮化し、調査期間を長く設けるという点と、アンケート調査内容を整理し、もう少し分かりやすくするという点です。

【事務局】

ご意見頂きありがとうございます。ただいま頂いたご意見はその通りでございまして、スケジュールに関しては再度行政と協議し、皆様が回答頂ける期間を設けて実施できればと思います。資料には現段階の予定を記載していますが、表向きには2週間で回答頂く設定にはしているものの、実際の回収期間としては、若干の余裕を見ています。初めから長すぎる回答期間をお示しすると、回答することを忘れられてしまうことがあります。我々としては2週間の受付期間を設けつつ、実際の受付は柔軟な対応をしてはどうかと思っております。もう1点、アンケート調査の項目の多さについては、回答者の回答負担が大きくなってしまふところがあり、極力設問数を減らすよう検討したいと思っております。

【会長】

ありがとうございました。他に何かご質問はございますでしょうか。

【委員】

熊本運輸支局の西脇と申します。日頃より大変お世話になっております。ただいまアンケート調査についてご意見がありましたが、利用者へのアンケート調査は調査結果から次期計画への問題点や課題を整理していく重要なものでございます。利用者の方は率直なご意見を出して頂ければと思います。併せて、交通事業者への協力依頼とお話もあり、交通事業者にはご負担をかけるところもあるかと思いますが、事務局におかれましては交通事業者との調整をよろしく願いいたします。運行の安全等との関係もありますので、その辺はしっかりと行って頂きたいと思っております。それと、説明の中にもありました前計画の評価について、次期計画を作成するにあたって、前計画の評価が重要となります。冒頭から話があった熊本地震の関係で予定通りに進まなかった部分もございますが、要因として本当にそれだけだったのか、他にも要因があったのかなども含めて、次期計画の取り組みに繋げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【会長】

その他何かございませんでしょうか。それでは、このような形で地域公共交通計画の策定に向けて進めさせていただきます。住民の方には今後アンケート調査が始まりますので、皆様周知をよろしく願いいたします。計画を策定してもなかなか公共交通を利用して頂けておりません。皆さんが利用していかない限りは持続できません。計画を策定することで何が起るかという、廃止等の基準が設けられてしまうので、利用しなければなくなってしまう。サービスを改善しながら利用していき、積極的に利用して頂きたいです。皆さんお車をお持ちでしょうが、車ばかり利用されては廃止となってしまいますので、なるべく公共交通機関を活用してください。公共交通機関がなくなり、免許返納した場合、タクシーを使ってくださいとしか

言いようがありません。そのため、維持していくことを町民の方と共有して欲しいということをお願いしたいです。

その他、皆様から全体的にご質問等ございますでしょうか。では、計画策定支援業務の取組方針についてはこれで承認頂いたということで、ありがとうございます。

それでは、本日の議事については以上になります。進行等にご協力頂きありがとうございました。以上で令和3年度第2回地域公共交通会議を終了いたします。